

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

下田地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

区内でも広い面積と多くの人口を抱える日吉地区が対象圏域です。若い世代の転入が多く、慣れない土地で子育てに不安を感じる親も多いため、それに呼応するように地域の子育て支援の取り組みは活発です。

引き続き、日吉地区全体としての動きと、下田包括エリアとしての動きの両面を把握しながら、継続した介護予防の取り組みが必要と考えます。

地域の担い手の高齢化、自治会等の役員の変化に対応するかたちで、地域福祉保健計画、および、地区ごとの地域ケア連絡会・地域ケア会議・生活支援体制整備事業とさまざまな取り組みにおいて、地域住民や関係機関と共に、課題を共有し、解決に向けて歩んでゆく必要があります。

○ひっとプラン港北の地区計画の推進（地区別の地域ケア委員会）、および、日吉地区「包括レベル地域ケア会議」を、地域の方々と関係諸機関・諸団体の方々が、円滑に運営できるよう支援しました。

○日吉地区「包括レベル地域ケア会議」において提案し、理解をいただいた各種取り組みを、計画的に展開し、具体的な事業へと発展させることができました。また、「専門職と地域とのネットワーク構成」の分科会については、今後も地域住民と医療福祉等の専門職を結ぶ場として継続的に開催し、双方にとっての連携や協働方法などを検討していきます。

具体的な事業として、

- ・認知症カフェの立ち上げ支援
- ・「男のセカンドライフカレッジ」の開催と自主グループ化 など

(1) 相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

事業開催時に「ケアプラザが地域で身近な相談窓口」である旨の機能紹介の徹底を継続し、定期事業や貸館利用者には積極的に挨拶・声かけをしながら「話をしやすい」雰囲気づくりに努めました。

そして、高齢・障害・子育て等幅広い分野に関する情報や資料を常に更新、情報ラウンジをはじめ、講座や世代別の事業での配布を行いました。

また、チラシの配布だけではなく、出張講座での啓発も行うことでニーズの把握とともに早期介入・早期発見し適切な支援に繋がっています。

さらに、子育て・障害児者支援に関する事業についても区や生活支援センター等の関係機関と適宜情報交換を行い、気になる方については情報提供を行った。

(2) 各事業の連携

前年度 5 職種で共有した課題について、具体的な事業化に結び付けることができた。

- ・ 下田メモリーカフェ（認知症カフェ）
- ・ 男のセカンドライフカレッジ（担い手の発掘育成）

また、貸館団体へサークルの運営状況のヒアリングを実施、高齢等により、サークル活動が大変になってきている方を包括と共有することで早期発見、早期フォローにつなげることができた。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

定例の内部および法人内会議を予定どおり実施し、自己研鑽、業務点検を行うことができました。

- ・ 積極的に各種研修へ職員を派遣した。
- ・ 定例の内部および法人内会議を予定どおり実施し、自己研鑽、業務点検を行った。
- ・ 外部研修参加 46件 延53人
- ・ 内部法人関連研修参加 25件 延248人

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

民児協および地区社協ボランティア連絡会の定例会には包括とコーディネーターの組合せで参加し、個別的なこと、地域的なこと両面に対応できる体制で臨んだ。

下田地区民児協発の「下田ふれあい食堂」（こども食堂）に運営には区役所・区社協の応援要請の他、地域の農家等のつなぎ役として活動支援を行えた。

日吉地区に所在しているケアマネジャーへ声かけを行い、ケース対応力の向上と地域の日頃の感じる事を話せる場を創出。顔の見える関係から連携につなげられることを心がけた。

主な地域会合等への参加（民児協・地区社協・自治会町内会ほか） 33回／年

(5) 区行政との協働

ひっとプラン港北・日吉地区計画の推進に向けて、区役所・区社協と連携しながら各町（5地区）の活動支援を行った。

「わが町の防災マップ」作成について、地域ケア委員会の運営や作業等が、円滑に進められるよう、継続的に支援を行いながら、役員等の方々の負担軽減に努めました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

今年度も高齢者、障害児者、子育ての各支援を地域の関係団体やボランティアの協力を得ながら開催することができました。

- ・高齢者の通いの場として「喫茶マロニエ亭」「すずらん」を継続して実施しました。マロニエでは給仕・話し相手としてのボランティアが、すずらんでは調理のボランティアが、それぞれ活躍されています。
- ・自治会のサロンにも包括部門と連携して、積極的に参加し講師役を担いました。パパ向け講座を今年度も2回実施し、ケアプラザに初めて来館したパパも含め交流の場となりました。
- ・文化祭「ケアプラザへ行こう2018」では地域で活動されている農園にも声をかけ、野菜・生花の販売をおこなうことができ、屋外での模擬店と屋内のイベントで若い世代も多数来場してもらうことができました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

各登録団体の高齢化、人数減少に伴い広報紙による告知をしたほか、講座を開いた際にケアプラザからのお知らせとして、団体周知の支援を行いました。活動を提供する場としてもデイサービスやケアプラザの事業で行う高齢者サロンなどで出演されるほか、イベントでの展示に協力を得ることができました。

また、貸館カレンダーの掲示、貸館予約会の運営とも計画どおり実施し、公平平等に各団体へ案内することができました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・随時、新規ボランティアの問い合わせを受け、面談等を行い、地域人材を積極的に受け入れています。日吉地区社協ボランティア連絡会の定例会に参加して情報共有を行い、地域資源の確保に努めました。
- ・小学生によるデイサービスでの演技披露や中学生の職業体験への受け入れ、夏休みには高校生のボランティアの受け入れ等を行いました。
- ・認知症カフェ「下田メモリーカフェ」を開き、地域で活動されている「ボランティア下田」をはじめ一般のボランティアを募集し開催することができました。
- ・下田地域に引っ越され、地域とつながりが少ないボランティアさんも、活動を通じて、ケアプラザの自主サークルや事業に参加され、つながりができた方も増えました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

講座や事業等で来館された方にヒアリングを行い、地域のニーズ把握に努めました。また、地域住民に対して、広報紙や施設独自のホームページをはじめ、各種事業の専用チラシを自治会の掲示板やスーパー等で周知を行いました。

さらに、ボランティアの方々に対して、デイサービスで夏と冬のイベント期間での出演や、高齢者の食事会、お茶会等の場を紹介し、出演協力をいただくこともできました。また、下田地区地域ケア委員会では、地域住民向けの情報発信ツールとなる、イベントカレンダーが作成され、企画段階から支援を行うことができました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

地域支援計画を基に、①新たな地域人材の発掘②認知症カフェの創出③子ども食堂の運営支援を5職種で共有し、活動にあたった。

具体的には①「男のセカンドライフカレッジ」（日吉本町CPと共催）を開催し、自主グループ化。事業参加者が地域活動につながった。②ボランティア下田と「下田メモリーカフェ」を開催。定期運営に至っている。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

包括で把握している相談をデータ分析し、共有することができた。そして、事業や地域の会合で傾向を伝える時に活用することができた。

30年度は局・区役所とともに JAGES 追加調査事業に協力し、その取り組みの一環として、日吉地区社協主催福祉講座を通じて介護予防に資する取組みの有効性を発信するに至った。

(3) 連携・協議の場

日吉地区社協ボランティア会との定例会をきっかけに会主催の「ボランティア相談会」を開催、運営協力を行う。また、地域のサービス付き高齢者住宅と連携について話し合いを重ね、次年度共催事業の実施に向けた準備を進めることもできた。

さらに、地域資源のひとつであった「よってこしもだ」の活動拠点閉鎖に伴って、今後の団体活動の継続に向けた協議や支援を行うことができた。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

区域全体の「新たな担い手の発掘」を目的に「シニアボランティアポイント研修会」を生活支援コーディネーター連絡会主催として開催し、55名の参加を得た。そして、この研修会をきっかけに、当施設のボランティアや区内各所のケアプラザの活動への橋渡しを行うことができた。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

地域の会合等（地区民児協・ボランティア会・老人会など）へ積極的に参加し、町の身近な相談窓口であることの周知を行うことができました。そして、多面的な支援を行うため、事例検討会を定期的に開催し、地域のケアマネジャーとの連携強化を行い利用者に対し幅広い支援を行うこともできました。

次に、市役所・区役所・区社協等とも連携しながら、JAGESのアンケート調査から見てきた課題を地域住民に伝え、共有することができました。今後は課題に対して必要な資源の構築ができるような働きかけが必要と考えます。

また、小さな見守りとして、介護予防サークルの参加者に、サークル内で気になる方や、長期欠席者の情報を貸館予約会やボランティア交流会等の場で伝えることにより、情報がつながり、早期の対応が可能になりました。

②実態把握

相談内容や講座参加者等をデータ化することで、地域の情報やニーズ把握を行いました。そこで得られた情報や相談の傾向に合わせて、介護予防に関する講座等を開催することができました。

また、JAGES で地域課題を明らかにし、その地域特性を、日吉地区社協の協力の下、住民と共有することもできました。

③総合相談支援

高齢者やその家族、関係者などから、介護保険申請やサービス調整、成年後見制度や地域インフォーマルサービス等のニーズに合わせた情報提供といった多岐に渡り相談を受けました。

◆相談件数 2, 233 件(4～3 月前年同期比 294 件増)

区職員との定例カンファレンスでは、区とも連携しながら対応困難ケースにも適切なフォローを行っています。

また、介護保険だけではなく精神障害を抱える家族に対しては多面的な支援を柔軟に行えるように、生活支援センターとの共催事業で相談の場となる「おはなしもだ」を活用しています。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

地域住民向けに個別相談会や講座を行い、成年後見制度の普及啓発を行いました。区域の行政書士会との協働し、個別相談会を開催し6名の相談がありました。個別の相談の中から必要な方には利用勧奨や手続きを支援し、必要な時期の申立てに繋げています。司法書士とも協働しながら「成年後見啓発事業」として、地域住民向けに成年後見制度に関する啓発講座を行いました。

また、区主催のサポートネットに参加して、各専門職との連携を強化して、相談対応での質を高め、法定後見2件、任意後見1件の支援を行っています。

消費者保護に関しては、被害防止に向け、消費生活推進員と協働して、マンションのサロンや介護予防教室等で、地域住民向けに啓発や注意喚起に向けた講座も行いました。なお、随時、地域の支援者向けにも最新の詐欺状況を伝え、情報提供を行っています。

②高齢者虐待への対応

高齢者虐待の早期介入に繋げるために関係機関とのネットワークを強化しました。区役所と協働して行う KGBR(高齢者虐待防止連絡会)では、区域で介護サービス事業所向けに研修を3回行い、地域のサービス事業所との連携強化に努めました。

養護者支援の観点から実施している「介護者のつどい」では、年間で8回開催、介護者述べ31名参加があり、介護者の負担軽減、介護に関する知識の普及に取り組みました。

また、通報のためのツールとしての虐待防止ハンドブック研修を事業所向けに開催し、事業所からの早期相談に繋げています。

③ 認知症

認知症に対する理解や知識普及のため、横浜労災病院と共催で地域向け講座を行いました。

また今年度はキャラバンメイトの育成に力を入れ、4名のメンバーで「おしゃべり九官鳥」という会を立ち上げ、地域の問題・課題を共に考え、サポーター養成講座等の普及啓発活動を行うことができました。

個別レベル地域ケア会議を行い自治会長や民生委員、ボランティアにも参加してもらい地域での見守りに対する意識の底上げを実現しています。

「介護者のつどい」では、認知症高齢者を介護する家族の支援を行い、ぶどうの会の協力を得ながら、必要な支援を行うことができた。特に今年度は、話の内容から虐待に発展しそうなケースが散見され、区役所地区担当者や担当CMと情報交換をしながら対応することができました。

さらに、認知症カフェについては、ケアプラザが会場となる「下田メモリーカフェ」を定期開催すると共に、近隣のグループホームでも立ち上げ支援を行い、それぞれに本人・家族・地域住民や支援者との顔の見える関係や支え合いの関係構築のための取り組みを行うことができました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

○地域の会合やイベントに地域交流、生活支援、包括で連携して参加し、ケアプラザからの事業紹介や情報共有を行いました。

・地区民児協やボランティア連絡会、地区のサロン等に参加。

・地域のケアマネジャー向けに事例検討会を行い、次年度より定期開催となる。

○区内包括合同で、インフォーマルサービス情報、通所事業所アピールシートを更新し、情報提供に努めることができました。さらに、ケアプラザの広報紙やイベントの情報等について、PRボックスを通じて配布することも出来ました。

・地域の医院等に年8回配架

また、地域ケア会議を通じて、地域の関係者間の意見交換を行い、顔の見える関係作りに努めることができました。

② 医療・介護の連携推進支援

○区内包括合同で、港北区高齢者支援ネットワークに参加し、「在宅療養」に関するテーマで区民公開講座や研修会を行いました。(世話人会にも参加：10回)

研修会；認知症BPSD易怒・興奮の対応について

オーラルフレイルからサルコペニア予防

区民講演会；「在宅療養での医師・歯科医師・薬剤師の関わりについて 癌末期の在宅医療」

○地域のケアマネジャーからの医療的相談に対応するため、毎月ケアプラザ協力医による「医療連携支援事業」を実施。(H30年度は8回実施)

○地域ケア会議

包括レベル地域ケア会議を2回実施し、地域の開業医、訪問看護等の医療職の方にも参加してもらい、地域の方々との課題や情報共有を通じた、日頃の関係構築に向けた働きかけを行うことができました。

③ ケアマネジャー支援

- 地域のケアマネジャーからの相談対応を適宜行い、必要に応じて、支援困難事例への対応等で区役所地区担当者と連携しながら、相談対応や同行訪問、カンファレンス等を行いました。
- 介護予防・介護予防ケアマネジメントを委託しているケアマネジャーによるサービス担当者会議に随時参加。
- 区内包括合同による様々なケアマネジャー支援を実施。
 - ・「インフォーマルサービス情報」「通所事業所アピールシート」を再編集、発行し、地域情報の収集・提供を行った。
 - ・経験年数1年未満のケアマネジャーを対象に「新任ケアマネジャー向け研修会・懇談会」を5回に分け行った。
(「行政サービスの利用について・施設見学会・生活保護について等」)
 - ・区内の主任ケアマネジャー向け研修を行い新任ケアマネジャー研修にも協力を仰いで実施し、連携強化に努めることができました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

今まで構築してきた「港北区高齢者支援ネットワーク」や「ガンバ港北」等において、地域包括ネットワークを引き続き継続する。

また、医療機関・サービス事業所・民生委員・地区社協ボランティア連絡会等とは、連絡会をはじめ、研修会、地域ケア会議（個別や包括レベル）の場を通じて、ネットワーク構築に努め、さらに、「下田式事例検討会」を開催し、日吉地区内のケアマネジャーと協力体制強化に寄与することもできました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

事業対象者や要支援者が望む生活の実現に向けて、本人の持っている自分の力を自覚できるよう「頑張っている事」「したいこと」「出来ていること」等を意識して聞くようにしました。そして、介護予防支援計画票を作成する際は、「本人の望む生活はどのような事か、今の生活をどのようにとらえているか」等を一緒に確認し合いながら、わかりやすい言葉で記載しています。委託先の事業所のケアマネジャーへは、担当者会議等を利用して適切な介護予防ケアマネジメントが実践できるように助言、アドバイスをしています。また、利用者のとらえ方を学ぶ「下田式事例検討会」を隔月開催し、基礎を学んでいます。包括内では会議の時の情報を記録に残し、皆で共有をしています。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

生活支援・地域交流の両コーディネーターと情報交換をしながら、ケアプラザから遠方で訪れにくい方々に対して、最寄りの町内会館や福祉施設を会場にした予防教室を複数回開催。また、企業との協働で、参加者が楽しみながら取り組める魅力ある講座も開催できた。そして、講座開催後に、自主グループ化できた団体がある一方、メンバーの高齢化等により、解散するグループもあり、このことへの支援（支える後方支援者の発掘や仲間の募集など）の検討を進める必要があると考えます。

なお、既存の介護予防サークルやボランティア団体との交流会を開催し、顔見知りや支え合いの関係づくりの大切さを説明している。

また、講師の育成では、地域の課題を共に考え、提案をしてくれる方ができた。

地域のマンション単位での茶話会では、日常生活に必要な情報（ロコモ予防・栄養・口腔ケア・防犯・認知症予防等）を提供しながら、継続した運営の支援を行うことができました。

職員同士で随時、会議などの時間等を利用して各茶話会の情報交換を適宜行い、必要な支援を検討しています。

5 その他

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

施設の保守管理および環境維持を定期的・日常的に実施し、公共の財産を良好な状態に維持するよう、適切な管理に努めました。また、建築物・設備の破損・汚損に対する予防保全に努め、破損・汚損を発見した場合は速やかに回復または保全の措置を行いました。さらに、建築設備・電気設備等の定期点検を予定どおり実施しました。なお、夏に冷温水発生機の不具合があり、対応に不備等があったため、次年度の保守点検業者を変更します。

(2) 効率的な運営への取組について

業務を効率良く効果的に進めるために、ムリ・ムラ・ムダを省く意識を常に各職員が持ちながら、運営にあたりました。その他経費節減のため、備品購入や各種契約等については、規程に基づき、相見積り等の実施を徹底しました。また、昨年度末に電力会社との契約を見直した結果、少しずつですが、経費削減も行うことができました。

(3) 苦情受付体制について

運営法人内に苦情解決調整委員会およびその第三者委員が設置されており、受付体制を整備しています。さらに、利用者や地域の方々からの要望・意見等に対し、適切に対応するとともに、部門ごとの利用者アンケート等を通じ、利用者の要望等を汲み上げ、より良い施設運営に活かせるよう努めました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

防犯・防災、その他緊急事態対処のため、マニュアルやチェックリスト等を活用するとともに、定例の内部会議等で随時職員に対応方法等を指導しながら、意識の向上を図り、迅速な行動に移れるよう努めました。

また、防災訓練を消防署立会いの下、利用者を交えながら、4回実施しました。さらに、防災備蓄のチェックと入れ換え等を必要に応じて行っております。

(5) 事故防止への取組について

日々、ヒヤリハットも含めて職員間で情報を共有し、月例の部門別会議や事故防止委員会で復習・対策検討するなどして、事故の再発防止に努めました。

発生した事故については基準に基づいて、速やかに区・市当局に報告しております。

なお、平成30年度は2件の個人情報漏えい事故が発生したため、区役所指導の下、再発防止のための研修受講や業務内容の見直し等を行いました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報漏洩を起こさない業務手順・体制を定めながら、日々の業務を実践しています。そして、手順等を各職員が確認し合いながら行い、さらに内部の諸会議等の機会を活用して、全職員を対象に研修を実施し、意識啓発に努めました。

なお、平成30年度は2件の個人情報漏洩事故が発生したため、区役所指導の下、再発防止のための研修受講や業務内容の見直し等を行いました。

(7) 情報公開への取組について

法人・施設広報紙やホームページ、運営協議会等において、地域の方々に向けた情報公開に努めました。また、介護サービス情報の公表、事業報告・計画の区役所ホームページでの公表等、所定の制度に対応しました。

(8) 人権啓発への取組について

指定管理者のとしての公正・中立性、また、福祉に携わる者としての人権意識を高め維持するため、法人倫理規程その他の方針・指針、「利用者アンケート」等を活用し、内部研修を行いました。また、随時ミーティングや事例検討（ケースに関する情報交換を含む）の場を通じて、職員同士、自らの姿勢や取り組みの振り返りの機会としました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

横浜市のごみ減量化・資源化の取り組みに積極的に対応しました。省エネルギーに関しても、当施設の建物に既設の太陽光システムやセンサー水栓等を適切に活用。また、職員と共に施設貸館利用の方々に対しても理解を得ながら、日頃の節電節水を励行しました。さらに園芸ボランティアの協力の下、施設緑化にも取り組むことができました。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

看護師 1
社会福祉士 1
主任ケアマネジャー 1
ケアマネジャー 2（非常勤2）

《目標に対する成果等》

事業対象者や要支援者が望む生活の実現に向けて、本人の持っている自分の力を自覚できるよう「頑張っている事」「したいこと」「出来ていること」等を意識して聞くようにしました。そして、介護予防支援計画票を作成する際は、「本人の望む生活はどのような事か、今の生活をどのようにとらえているか」等を一緒に確認し合いながら、わかりやすい言葉で記載しています。委託先の事業所のケアマネジャーへは、担当者会議等を利用して適切な介護予防ケアマネジメントが実践できるように助言、アドバイスをしています。また、利用者のとらえ方を学ぶ「下田式事例検討会」を隔月開催し、基礎を学んでいます。包括内では会議の時の情報を記録に残し、皆で共有をしています。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし
-
-

《その他（特徴的な取組、PR等）》

介護保険サービスだけでなく、インフォーマルサービスの提案や地域のつながり、顔の見える関係づくりを支援しながら、ケアマネジメントを行います。
介護予防支援業務専従のケアマネジャーが中心となって、他職種と連携を取りながら、委託ケースの管理をします。
ケアプラザから遠方となる地域に出向いて、魅力ある講座の開催をします。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
212	210	213	209	216	219
10月	11月	12月	1月	2月	3月
223	228	231	227	222	213

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員 3人 (常勤専従2・常勤兼務1)

《目標に対する成果等》

利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて利用者が自立した日常生活を営むことが出来ることを目標として、居宅サービス計画を作成し、サービスを総合的かつ効率的に提供するための連絡調整を行いました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし
-
-

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域包括支援センターと連携して、要支援、要介護一貫したケアマネジメントに取り組みました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
112	113	107	100	109	100
10月	11月	12月	1月	2月	3月
104	100	102	98	95	102

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 通所介護
- 送迎・入浴・食事・レクリエーション・リハビリ等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分（サービス提供体制加算Ⅱ・中重度者ケア体制加算を含む）

（要介護1）	820円/回
（要介護2）	947
（要介護3）	1087
（要介護4）	1213
（要介護5）	1346

- 認知症加算1割負担分 65円/回
- 入浴加算1割負担分 54円/回
（2・3割負担のご利用者からは2・3倍額いただきます）
- 介護職員処遇改善加算 総額の2.3%
- 食費負担 750円/食
- 通常の事業実施地域を越えて送迎を行う場合の交通費

越えて1km（道程）まで片道	100円
2kmまで	200円
4kmまで	300円
4km超	400円

- 特別な行事等に係る経費については、事前に説明した上で、希望者にご負担いただきます。

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 9:15～16:20

《職員体制》

生活相談員兼介護職員	4人	看護職員	4人
介護職員	13人	運転手	8人

《目標》

利用者が自立した日常生活を営むことおよび利用者の家族の負担を軽減することを目標に、利用者の心身の特性を踏まえ、その能力に応じて、入浴・排泄・食事等の介護等を行うとともに、機能訓練を実施します。また、利用者の家族に対し、必要に応じて、介護方法等について助言します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

和やかでのんびりした雰囲気です。楽しみながら長く通っていただくことが、要介護状態の維持（悪化防止）につながると考えています。

季節の行事や、寿司バイキング・松花堂弁当等の特別メニューをご提供します。

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
626	650	557	599	596	560
10月	11月	12月	1月	2月	3月
611	626	598	567	567	666

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 介護予防通所介護
- 送迎・入浴・食事・レクリエーション・リハビリ等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 基本料1割負担分（サービス提供体制加算Ⅱを含む）
（要支援1） 2080円/月
（要支援2） 4003
- 運動器機能向上加算1割負担分 242円/月
（2・3割負担のご利用者からは2・3倍額いただきます）
- 介護職員処遇改善加算 総額の2.3%
- 食費負担 750円/食
- 通常の事業実施地域を越えて送迎を行う場合の交通費

越えて1km（道程）まで片道	100円
2kmまで	200円
4kmまで	300円
4km超	400円

- 特別な行事等に係る経費については、事前に説明した上で、希望者にご負担いただきます。

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 9:15～16:20

《職員体制》

生活相談員兼介護職員 3人 看護職員 4人
介護職員 13人 運転手 8人

《目標》

利用者が自立した日常生活を営むことおよび利用者の家族の負担を軽減することを目標に、利用者の心身の特性を踏まえ、その能力に応じて、入浴・排泄・食事等の介護等を行うとともに、機能訓練を実施します。また、利用者の家族に対し、必要に応じて、介護方法等について助言します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

和やかでのんびりした雰囲気です。楽しみながら長く通っていただくことが、要支援状態の維持改善につながると考えています。
季節の行事や、寿司バイキング・松花堂弁当等の特別メニューをご提供します。

《利用者目標（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
9	9	9	9	8	8
10月	11月	12月	1月	2月	3月
9	9	9	10	10	8

平成30年度「下田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,625,335	0	15,625,335	15,276,034	349,301	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入			0	320,570	△ 320,570	
雑入	0		0	15,803	△ 15,803	
印刷代	0		0	12,178	△ 12,178	
自動販売機手数料			0	3,270	△ 3,270	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他 (指定管理充充分)	0		0	355	△ 355	
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)	3,587,500		3,587,500	3,587,500	0	
その他 (提案時控除 法人負担分)	806,325		806,325		806,325	
収入合計	20,019,160	0	20,019,160	19,199,907	819,253	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,227,000	0	11,227,000	9,594,519	1,632,481	
本俸	7,397,000		7,397,000	6,561,330	835,670	
社会保険料	1,000,000		1,000,000	846,219	153,781	
手当計	2,500,000		2,500,000	1,907,001	592,999	
健康診断費	30,000		30,000	38,318	△ 8,318	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	100,000		100,000	82,117	17,883	
その他	200,000		200,000	159,534	40,466	
事務費	1,270,000	0	1,270,000	1,247,355	22,645	
旅費	40,000		40,000	18,390	21,610	
消耗品費	110,000		110,000	160,036	△ 50,036	
会議賄い費			0	0	0	
印刷製本費	20,000		20,000	26,050	△ 6,050	
通信費	180,000		180,000	194,418	△ 14,418	
使用料及び賃借料	649,600	0	649,600	106,748	542,852	
横浜市への支払分	9,600		9,600	10,368	△ 768	
その他	640,000		640,000	96,380	543,620	
備品購入費			0	25,159	△ 25,159	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	50,000		50,000	46,012	3,988	
職員等研修費	8,000		8,000	2,628	5,372	
振込手数料	10,000		10,000	8,991	1,009	
リース料			0	367,046	△ 367,046	
手数料	800		800	432	368	
地域協力費	3,600		3,600	3,600	0	
その他	198,000	0	198,000	287,845	△ 89,845	
事業費	470,000	0	470,000	609,764	△ 139,764	
運営協議会経費	42,000		42,000	10,591	31,409	
指定管理料充当 事業	428,000		428,000	599,173	△ 171,173	
管理費	6,154,000	0	6,154,000	6,332,343	△ 178,343	
建築物・建築設備点検			0	0	0	
光熱水費	3,424,000	0	3,424,000	3,929,141	△ 505,141	
電気料金	1,124,000		1,124,000	1,178,743	△ 54,743	
ガス料金	800,000		800,000	982,285	△ 182,285	
水道料金	1,500,000		1,500,000	1,768,113	△ 268,113	
清掃費	1,450,000		1,450,000	1,421,886	28,114	
修繕費	474,000	0	474,000	124,699	349,301	
機械警備費	120,000		120,000	120,404	△ 404	
設備保全費	446,000	0	446,000	480,282	△ 34,282	
空調衛生設備保守	104,000		104,000	103,971	29	
消防設備保守	48,000		48,000	47,780	220	
電気設備保守	72,000		72,000	73,464	△ 1,464	
害虫駆除清掃保守	16,000		16,000	20,469	△ 4,469	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	206,000		206,000	234,598	△ 28,598	
共益費			0	0	0	
その他	240,000		240,000	255,931	△ 15,931	
公租公課	898,160	0	898,160	767,561	130,599	
事業所税			0	0	0	
消費税	898,160		898,160	767,561	130,599	
印紙税			0	0	0	
その他 ()			0	0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ズ対応費			0	0	0	
支出合計	20,019,160	0	20,019,160	18,551,542	1,467,618	
差引	0	0	0	648,365	△ 648,365	

自主事業費収入			0	320,570	△ 320,570	自主事業への参加料等
自主事業費支出			0	599,173	△ 599,173	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 278,603	278,603	

管理許可・目的外使用許可収入	0		0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0		0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0		0	

平成30年度「下田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	23,181,000	0	23,181,000	22,710,141	470,859	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当事業（包括）	0		0		0	
指定管理料充当事業（介護予防）	0		0		0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0		0		0	
自主事業収入			0	43,200	△ 43,200	
雑入	0	0	0	15,801	△ 15,801	
印刷代	0		0	12,177	△ 12,177	
自動販売機手数料	0		0	3,269	△ 3,269	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他（指定管理充当分）	0		0	355	△ 355	
その他（提案時控除 法人負担分）	1,486,500		1,486,500		1,486,500	
収入合計	30,607,500	0	30,607,500	28,709,142	1,898,358	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	26,239,000	0	26,239,000	25,622,317	616,683	
本俸	13,764,000		13,764,000	13,152,100	611,900	
社会保険料	3,500,000		3,500,000	3,387,645	112,355	
手当計	8,500,000		8,500,000	8,366,936	133,064	
健康診断費	30,000		30,000	33,052	△ 3,052	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	400,000		400,000	381,501	18,499	
その他	45,000		45,000	301,083	△ 256,083	
事務費	1,200,000	0	1,200,000	1,082,299	117,701	
旅費	70,000		70,000	98,430	△ 28,430	
消耗品費	90,000		90,000	107,636	△ 17,636	
会議賄い費			0	0	0	
印刷製本費	10,000		10,000	13,554	△ 3,554	
通信費	210,000		210,000	241,659	△ 31,659	
使用料及び賃借料	39,600	0	39,600	10,368	29,232	
横浜市への支払分	9,600		9,600	10,368	△ 768	
その他	30,000		30,000	0	30,000	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	50,000		50,000	46,041	3,959	
職員等研修費	28,000		28,000	85,078	△ 57,078	
振込手数料	12,000		12,000	9,417	2,583	
リース料			0	254,293	△ 254,293	
手数料	400		400	3,272	△ 2,872	
地域協力費			0	0	0	
その他	690,000	0	690,000	212,551	477,449	
事業費	1,127,500	0	1,127,500	551,618	575,882	
協力医	630,000		630,000	252,000	378,000	
指定管理料充当 事業（包括）	37,500		37,500	9,010	28,490	
指定管理料充当 事業（介護予防）	151,000		151,000	163,645	△ 12,645	
指定管理料充当 事業（生活支援）	309,000		309,000	126,963	182,037	
管理費	1,276,000	0	1,276,000	1,683,261	△ 407,261	
建築物・建築設備点検	0		0		0	
光熱水費	500,000	0	500,000	1,044,454	△ 544,454	
電気料金	260,000		260,000	313,336	△ 53,336	
ガス料金	200,000		200,000	261,114	△ 61,114	
水道料金	40,000		40,000	470,004	△ 430,004	
清掃費	400,000		400,000	377,966	22,034	
修繕費	126,000		126,000	33,141	92,859	
機械警備費	40,000		40,000	32,006	7,994	
設備保全費	130,000	0	130,000	127,663	2,337	
空調衛生設備保守	30,000		30,000	27,635	2,365	
消防設備保守	15,000		15,000	12,700	2,300	
電気設備保守	20,000		20,000	19,528	472	
害虫駆除清掃保守	5,000		5,000	5,440	△ 440	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	60,000		60,000	62,360	△ 2,360	
共益費			0		0	
その他	80,000		80,000	68,031	11,969	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	29,842,500	0	29,842,500	28,939,495	903,005	
差引	765,000	0	765,000	△ 230,353	995,353	

自主事業費収入	0		0	43,200	△ 43,200	自主事業への参加料等
自主事業費支出	0		0	299,618	△ 299,618	自主事業経費
自主事業収支	0		0	△ 256,418	256,418	

管理許可・目的外使用許可収入			0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出			0		0	使用料（横浜市への支払等）
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

平成30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 下田地域ケアプラザ

平成30年4月1日~平成31年3月31日

(単位: 千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	6000		6000	16800		16800	73300		73300	2700		2700
	その他	6000	0	6000	150	0	150	16300	0	16300	600	0	600
	介護予防ケアマネジメント費	6000		6000			0			0			0
	事業・負担金収入			0			0			0			0
	利用者負担金			0			0	8300		8300	200		200
	利用者食事代			0			0	6000		6000	400		400
	認定調査			0	150		150			0			0
	利用者外食事代収入			0			0	2000		2000			0
	収入合計(A)	12000	0	12000	16950	0	16950	89600	0	89600	3300	0	3300
支出	人件費	3884		3884	17155		17155	70700		70700			0
	事務費	140		140	1400		1400	4350		4350			0
	事業費			0	58		58	7874		7874			0
	管理費			0			0	11500		11500			0
	その他	4000	0	4000	0	0	0	2650	0	2650	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	4000		4000			0			0			0
	利用者外給食費			0			0	2650		2650			0
	その他			0			0			0			0
支出合計(B)	8024	0	8024	18613	0	18613	97074	0	97074	0	0	0	
収支 (A) - (B)	3976	0	3976	-1663	0	-1663	-7474	0	-7474	3300	0	3300	

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額						
		総経費	収入			支出		
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
介護予防セミナー2018 高齢者に多い呼吸器疾患 について	①地域の方	事務費	地活					
	②36名		包括	事務費				事務費
	③0		介護					
			生活					
スクエアステップ(全11回)	①地域の方	24,497	地活					
	②延べ196名 (うち178名支払いあり)		包括	6,697	17,800	24,497		
	③100円		介護					
			生活					
下田元気塾・体のメンテ ナンスと歩き方教室	①地域の方	49,638	地活					
	②延べ125名		包括	49,638		42,318	4,320	3,000
	③0		介護					
			生活					
スリーA教室	①地域の方	4,258	地活					
	②延べ54名(うち28名支払 1名金額不足あり)		包括	1,478	2,780		4,258	
	③100円		介護					
			生活					
メモリーカフェ	①地域の方	18,003	地活					
	②延べ98名 (うち89名支払いあり)		包括	203	17,800	2,000	16,003	
	③200円		介護					
			生活					
歌おうララ	①地域の方	3,341	地活					
	②47名		包括	3,341		3,341		
	③0		介護					
			生活					
ロコモ予防教室	①地域の方	23,169	地活					
	②延べ96名		包括	23,169			18,669	4,500
	③0		介護					
			生活					
ヨガ&シナプソロジー体 験講座	①地域の方	26,770	地活					
	②延べ93名		包括	26,770		22,270		4,500
	③0		介護					
			生活					
下田元気塾@チアーズ	①地域の方	16,704	地活					
	②延べ53名		包括	16,704		16,704		
	③0		介護					
			生活					
尿漏れ講座	①地域の方	5,568	地活					
	②42名		包括	5,568		5,568		
	③0		介護					
			生活					
喫茶・こかげ支援	①喫茶・こかげ参加者	7,795	地活					
	②延べ38名		包括	7,795		7,795		
	③0		介護					
			生活					
歌の広場	①地域の方	13,364	地活					
	②延べ71名		包括	13,364		13,364		
	③0		介護					
			生活					

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額						
		総経費	収入			支出		
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
元気づくりステーション第7コーポ	①元気づくり参加者	8918	地活					
	②23名		包括	8,918			8,918	
	③0		介護					
			生活					
「楽しく食べて、元気に」の栄養講座	①地域の方	0	地活					
	②38名		包括	事務費				事務費
	③0		介護					
			生活					
「聞こえの話」の講座	①地域の方	0	地活					
	②30名		包括	事務費				事務費
	③0		介護					
			生活					
安心！終活セミナー	①地域住民	0	地活					
	②22名		包括					
	③0		介護					
			生活					
行政書士による相談会	①地域住民	0	地活					
	②6名		包括					
	③0		介護					
			生活					
地域ケアカンファレンス(単館)	①地域のケアマネジャー	0	地活					
	②延べ10名		包括	事務費		事務費		事務費
	③0		介護					
			生活					
区内合同主任ケアマネジャー研修	①地域のケアマネジャー	2,564	地活					
	②延べ10名		包括	2,564			2,000	564
	③0		介護					
			生活					
区内合同地域ケアカンファレンス	①地域のケアマネジャー	2,259	地活					
	②延べ100名		包括	2,259				2,259
	③0		介護					
			生活					
医療連携支援	①地域のケアマネジャー	0	地活					
	②延べ18名		包括	事務費			協力医謝金	事務費
	③0		介護					
			生活					
男の！セカンドライフカレッジ	①日吉地区にすむ男性	126,963	地活					
	②延べ121名		包括		43,200	0	49,659	37,334
	③2,400円		介護					39,970
			生活	83,763				
サロン おはなしもだ	①精神障がい者	0	地活	事務費				
	②延べ17名		包括					事務費
	③0		介護					
			生活					
ボランティア派遣・支援	①登録ボランティア	0	地活	事務費				
	②延べ1507名		包括					事務費
	③0		介護					
			生活					

平成30年度 自主事業報告書

横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防セミナー2018 高齢者に多い呼吸器疾患	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 介護予防の必要性や介護予防事業の周知をケアプラザの協力医とともに実施</p> <p>【実施内容等】 毎年恒例の介護予防セミナー 今年、高齢者の死亡原因の上位の肺炎を中心に、風邪や肺がんなどの呼吸器疾患について、レントゲン等を見ながら学ぶとともに、健診の勧めや早期受診の必要性などの講義を受けた。講義の後は、正しい深呼吸の方法や簡単な体操を行った。</p>	4/12 (木) 1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
スクエアステップ	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 認知症予防。閉じこもり予防。居場所。</p> <p>【実施内容等】 スクエアステップを通して、体を動かしながら認知症予防をおこなう。また、認知症の方、MCIの方などもステップが踏めなくても、声をかけあい一緒にステップを踏むなど支え合っている。居場所としての活動も兼ねている。先生は他地域で活動されているグループに依頼。</p>	毎月、第2木曜日 全11回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
下田元気塾・からだのメンテナンスと歩き方教室	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 ロコモ予防とセルフケアの方法を実践。また、高齢期に必要な栄養、口腔ケアをまなぶ。</p> <p>【実施内容等】 基本の姿勢や深呼吸の方法、ストレッチなどを学ぶ。また、ロコモティブシンドロームの予防に必要な運動や、栄養【調理あり】・口腔ケアが継続して実践できる方法を学んだ。</p>	6月より12月まで 毎月、第1木曜日 全7回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
スリーA教室	<p>【対象者】 地域の方、認知症を学びたい方</p> <p>【目的】 スリーA方式脳活性化ゲームを通して、認知症やMCIの方の「生きがいつくり」「やる気」を引き出す手法を学び、各自のサークルで実施できるようになる。認知症の方等の居場所となる。</p> <p>【実施内容等】 様々な脳の活性化ゲームを行ったり、回想法・季節の行事を楽しみ、その後はささやかな「茶話会」を開催している。</p>	毎月、第4木曜日 全12回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
メモリーカフェ	<p>【対象者】 地域の方、認知症の方とその家族、専門職など</p> <p>【目的】 誰もが気軽に集い、認知症に関する情報交換ができる。お互いに顔見知りになることで地域でも萌香家や支え合い・見守り等ができる。</p> <p>【実施内容等】 茶話会形式で、認知症の事やその予防方法等の情報提供。回想法を取り入れ、皆で懐かしい物や映像をみて語り合う。地域の接骨院の院長の講座や地域の専門職の方や当事者のかたの特技の披露など毎回趣向を凝らし、地域のボランティアと実施している。</p>	5月より毎月、第2木曜日（ただし、8月と1月は休み）
事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌おうラララ	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 2月に募集した歌の会の反響が高く、定員もれの人々の救済を目的として開催。音楽療法。</p> <p>【実施内容等】 懐かしい歌や流行の歌を皆で歌うことで、活力アップ・癒し効果・認知症の予防を期待。歌を歌う他、正しい発声方法や呼吸法、嚥下予防方法を学んだ。</p>	3月9日（土） 1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ロコモ予防教室	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 ケアプラザの事業に参加し辛い地域に向け、町内会館を借りてロコモ予防講座を開催。</p> <p>【実施内容等】 ケアプラザに来にくい場所に住んでいる方に向けて、ロコモ予防【筋トレ・ウォーキング】・栄養【調理あり】・口腔ケア【口内細菌の観察、歯ブラシの強さのチェック】など、すぐに実践できる方法を学んだ。</p>	2月・3月の各第1火曜日を除く毎週火曜日 全6回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ヨガ&シナプソロジー体験講座	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 6月から開催した「下田元気塾」の継続の声により、開催した講座。相談で増えてきた「認知症」を予防する事を兼ねている。</p> <p>【実施内容等】 寒い季節を乗り越えるためのしなやかな体づくりと、認知症の予防を楽しく実施。楽しく運動をすることで、「毎日の暮らしの中で、もう少し体を動かそう、継続しよう」と意識をもち、お互いに声をかけあう関係が持てた。また、その中からシナプソロジーの資格の取得を目指す方が出てきた。</p>	1月・2月・3月の第2, 4木曜日 全5回

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
下田元気塾 @チアーズ	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 ケアプラザの事業に参加し辛いエリアに対して、介護事業所と共催でロコモ予防教室を開催（事業所が休みの日を利用）</p> <p>【実施内容等】 ロコモ予防（運動・栄養・口腔ケア9を実施。リハビリデイサービスの機能を活かし、セラバンドやボールなどのほか、実際に事業所で行っているプログラムを体験できた。</p>	10月・11月・12月の第2土曜日 全3回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
尿漏れ講座	<p>【対象者】 地域の方 尿トラブルに悩んでいる方などでも</p> <p>【目的】 尿もれの基礎知識とセルフケア（サニタリー用品の紹介を含む）や、予防体操を学び、外出が楽しめる体づくりを支援する。</p> <p>【実施内容等】 （株）ユニチャームよりセルフケア講座（尿もれの予防と対策）と、商品の紹介や吸収力の実際を目で見ることで、自分に合ったものを選ぶことや、体操講師とともに体操を行うことでイメージしやすくなった。</p>	11月1日 1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
喫茶・こかげ支援	<p>【対象者】 喫茶・こかげの参加者、ボランティア</p> <p>【目的】 ケアプラザの担当地域にある集合住宅の茶話会の支援。</p> <p>【実施内容等】 参加者（住民・ボランティアを含め）は、「体を動かすことが好きなので、運動をしたい」との希望を受け、体操講師を2回調整。筋トレやヨガ、リズム体操などを実施、皆で楽しむことができた。</p>	11月。3月の2回実施
事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌の広場	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 様々な介護予防サークルが中止している。負担が無く楽しめるサークル作りを目指す。講師はケアプラザで他のサークルの講師に依頼、</p> <p>【実施内容等】 懐かしい歌や、流行の歌を先生と楽しく歌い、活力アップや正しい発声方法ができた。来年度は、自主化サークルへもつながることができた。</p>	2月・3月の第2・4の水曜日 全4回

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
元気づくりステーション・第7コーポ	<p>【対象者】 元気づくりステーションに参加の方</p> <p>【目的】 開催250回のお祝いの為の講座（手先を使って認知症予防）と茶話会の実施</p> <p>【実施内容等】 開始から250回目を皆でお祝いするために、実施した。手先を使った内容であったが、お互い助け合いながら実施できた。次回は300回の記念予定。</p>	12月10日・23日 2回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
「楽しく食べて、元気に」の栄養講座	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 独居や高齢者世帯の食事から健康寿命をのばすための方法や、生きがいについて、（株）キューピを講師に話してもらう。</p> <p>【実施内容等】 日常の食生活の注意事項や食事のうんちくなど楽しく学ぶことができた。皆で10食品群チェックシートを記載したが、中々興味深い結果を見ることができた。</p>	5月31日 1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
「聞こえの話」の講座	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 聞こえのチェックと様々な健康状態への関連性についての話を、介護保険事業所「パナソニック」と共催で実施</p> <p>【実施内容等】 初めは「補聴器を売りつけられる」と、半信半疑であった参加者もいたようだが、機械での聞こえのチェックでは全員が希望。自分の今の聞こえの状況を知ることができた。</p>	7月19日 1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
行政書士による成年後見相談会	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 遺言や相続、成年後見制度に際して、制度概要や助言などを専門家に無料で相談できる</p> <p>【実施内容等】 6名の参加があり、個々からの相談を承った。</p>	8月31日 1回

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
安心！終活セミナー	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 成年後見制度の周知や普及啓発を行うため</p> <p>【実施内容等】 司法書士による、成年後見制度の知識や手続きの方法、費用等についての講座</p>	8月23日 1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域ケアカンファレンス（単館）	<p>【対象者】 担当地区のケアマネジャー</p> <p>【目的】 ケアマネジャーの資質向上に向けた支援</p> <p>【実施内容等】 ケアマネジャーの資質向上に向け、事例検討会を企画・実施。（今後、下田式事例検討会として定期的にも実施してみる。）</p>	
事業名	目的・内容	実施時期・回数
区内合同主任ケアマネジャー研修	<p>【対象者】 区内居宅支援事業所に在籍している主任ケアマネジャー</p> <p>【目的】 主任ケアマネジャーとしての資質向上を目指し、事業所内での他のケアマネジャー支援、事業所の枠を超えた顔の見える関係作り、連携を図り、今後の活動に活かす。また、研修を通じて、法廷更新研修に必要な要件を満たすことを視野に企画運営。</p> <p>【実施内容等】 主任ケアマネジャーの資質向上のための研修会を企画。また、包括合同企画（新任ケアマネジャー研修）にも数名参加してもらった。</p>	5 / 10 11 / 30
事業名	目的・内容	実施時期・回数
区内合同地域ケアカンファレンス	<p>【対象者】 区内居宅介護支援事業所に在籍するケアマネジャー</p> <p>【目的】 ケアマネジャーの資質向上に向けた支援</p> <p>【実施内容等】 ケアマネジャーの資質向上を目指し、区内包括合同で、研修会を企画・運営。（今年度は、「折れない心の作り方～臨床心理士からのアドバイス」と題し実施。）</p>	3 / 26

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
医療連携支援事業	<p>【対象者】 エリア内のご利用者を担当する</p> <p>【目的】 ケアマネジメントを行う際の医療問題に対し、医師から助言を得る機会とし、今後のケアマネジメントにいかしていく。</p> <p>【実施内容等】 毎月第2・4火曜日13:00から、ケアプラザ協力医の相談時間を地域のケアマネジャー向けの開放し、ケアプラン上の相談・助言を受けている。予約制で1回10～20分程度としている。 最近では1回あたり1、2組程度。 サービス担当者会議開催支援としても利用可としている。</p>	毎月第2・4火曜日 全8回実施
事業名	目的・内容	実施時期・回数
男のセカンドライフカレッジ	<p>【対象者】 日吉地区に住む70歳までの男性</p> <p>【目的】 ①これから定年を迎える（迎えた）方が健康を保ち、自宅に閉じこもることなく充実した生活を送ってもらう事により、支援が必要な人にしない。 ②閉じこもらない生活を継続し、将来的には地域の担い手になってもらう。</p> <p>【実施内容等】 同じ地域に住む男性の「同期」の仲間づくりを意識した全6回のプログラム。その後自主グループ化を果たす。</p>	H30年4～6月 計6回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
サロン おはなしもだ	<p>【対象者】</p> <p>【目的】 心の病を抱えている本人とその家族が気軽に集え、同じ立場の方やボランティアの方々とお話ができる場（サロン）を定期開催する。 生活支援センターと共催。</p> <p>【実施内容等】 生活支援センターの職員さんが毎回テーマを出し気軽に話が出来る場を提供</p>	奇数月の第三木曜日 全6回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 派遣・支援	<p>【対象者】 ボランティア希望者</p> <p>【目的】 下田地域ケアプラザ各種事業へのボランティア派遣をコーディネートすると共に、ボランティア活動の支援を行う。</p> <p>【実施内容等】 デイサービス、園芸、喫茶マロニエ亭などへの紹介</p>	随時

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
園芸ボランティア活動支援	<p>【対象者】 園芸ボランティア</p> <p>【目的】 下田地域ケアプラザ敷地内にあるプランターを手入れして下さる園芸ボランティアに対して必要な道具等の整備やミーティングを提供し、円滑に活動できるよう支援する。</p> <p>【実施内容等】 ミーティングの実施。園芸用品の購入など</p>	随時。全体ミーティングとして毎月第2金曜日に開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア懇談会	<p>【対象者】 下田ケアプラザで活動されているボランティアさん</p> <p>【目的】 下田地域ケアプラザ各種事業で活動して下さっているボランティアさんたちと、日々の活動で感じる喜びや疑問・不安などを話し合う機会を設定し、ボランティア間で共有するとともに各事業担当者への貴重な意見として伺う。</p> <p>【実施内容等】 グループワークなど</p>	3月16日(土)
事業名	目的・内容	実施時期・回数
心の健康を考える講座	<p>【対象者】 地域全般</p> <p>【目的】 生活支援センターと共催。参加された方が「おはなしもだ」への参加のきっかけになることも期待している。</p> <p>【実施内容等】 うつや統合失調症という、いわゆる精神疾患の理解を深める講座。</p>	12/3(月)
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザまつり「ケアプラザへ行く2018」	<p>【対象者】 地域全般</p> <p>【目的】 地域住民の交流の場として、ケアプラザを周知するとともに、貸館利用団体およびデイサービスご利用者の作品・演技披露の場を提供し、交流を促す。</p> <p>【実施内容等】 貸館団体による作品展示、演奏披露、地域の農園による野菜・生花販売、保健活動推進員による禁煙啓発、模擬店</p>	11月17日

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
音の波言の葉 音楽と朗読の コンサート	<p>【対象者】 地域全般</p> <p>【目的】 多くの世代の方に参加して同じく感動できる場を設定する。</p> <p>【実施内容等】 音楽と朗読のコラボレーションという魅力的かつ定例のコンサート。</p>	2/17(日)
事業名	目的・内容	実施時期・回数
自立高齢者 ミニデイサービ ス「喫茶マロニ エ亭」	<p>【対象者】 地域の高齢者（要介護認定「非該当」～「要支援」程度を想定）</p> <p>【目的】 社会性を保つ為の外出先を確保すると共に、身近な健康チェックの場を提供する。ボランティアと共に運営。</p> <p>【実施内容等】 喫茶サロン。その中で血圧測定、NHK「みんなの体操」を実施。年に数回は貸館団体等の披露もある。</p>	第1・3水 全21回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者食事会 「お食事処 すずらん」	<p>【対象者】 地域の独居高齢者</p> <p>【目的】 社会性を保つ為の外出先を確保すると共に、バランスの良い食事を提供する。ボランティアと共に運営。</p> <p>【実施内容等】 食事の提供</p>	第1火 全10回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てサロン 「すてっぷ」	<p>【対象者】 子育て経験の浅い親とその子たち</p> <p>【目的】 子育ての先輩ボランティアを中心に子供を遊ばせながら、情報交換のできるスペースを提供するとともに、子育ての知恵を獲得する機会の場とする。</p> <p>【実施内容等】 10:00～11:30の時間の中で自由に利用できる。</p>	第2・4金 全22回

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子学級 「イルカ」	<p>【対象者】 平成30年度中に3歳および4歳になる未就園児</p> <p>【目的】 同一年度に出生した子とその親を対象に、親子の触れ合い・スキンシップを育むため、親子交流・あそびを学ぶ機会を提供する。 親子学級支援者「ポケット」との共催。</p> <p>【実施内容等】 各回ごとにテーマを設け工作や運動会などを実施。</p>	7～1月 全7回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子のソバ打ち 体験教室	<p>【対象者】 小学生とその親</p> <p>【目的】 ケアプラザを利用する機会が少ない、小学生とその親を対象。元気シニア教室から自主化した団体が講師役となり、地域貢献を実践できる場を提供する。</p> <p>【実施内容等】 そば打ちサークルが講師役として開催するソバ打ち、試食。</p>	5月13日（日）
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
パパの 育児教室	<p>【対象者】 ①乳幼児のパパ ②第1子の0歳児とパパとママ</p> <p>【目的】 子育てに不安を抱いているパパと、パパに子育てに参加してほしいと思っているママを対象とする子育て支援事業。子供と一緒に遊びながら、家族どうしが情報交換し、遊び方を学ぶことができる場を提供する。区役所と共催。</p> <p>【実施内容等】①佳久こどもクリニックの佳久院長を講師に緊急時の対応について ②パパとママが分かれてのプログラムを実施。パパは子育て支援者から手遊び等のレクチャー、ママは工作を実施。</p>	①1/19（土）② 12/9（日）
事業名	目的・内容	実施時期・回数
冬休み書初め 練習教室	<p>【対象者】 小学生～中学生</p> <p>【目的】 地域ケアプラザが高齢者だけの施設でないことを周知すると共に、学校の長期休暇を利用し、参加する子どもどうしが交流を持ちながら宿題に取り組む場を提供する。</p> <p>【実施内容等】 ケアプラザで活動されている書道の団体をはじめ地域のボランティアを講師に宿題の書初めを行う。</p>	12月27日（木）

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
学齢障がい児 夏休み生活支援 「こうほくなつ とも 2018」	<p>【対象者】 学齢期の障がい児（小中学生）</p> <p>【目的】 学齢期の障がい児に、夏休みの活動の機会や場、ボランティアとの交流を、身近な地域で提供する。区役所・区内地域活動ホームと共催。</p> <p>【実施内容等】 室内でのレクレーションや外出プログラムの実施。</p>	<p>①7月30日（高田） ②8月7日・8日（日吉本町）</p>
事業名	目的・内容	実施時期・回数
こうほくからふる 2018	<p>【対象者】 学齢期の障がい児（小学生～高校生）</p> <p>【目的】 学齢期の障がい児に、長期休みの活動の機会や場、ボランティアとの交流を、身近な地域で提供する。港北区地域ケアプラザ6館での共催。小学生・中学生・高校生版と3回実施。</p> <p>【実施内容等】 横浜周辺の施設等に外出</p>	<p>①6月23日（土）中学生 ②10月27日（土）高校生 ③2月23日（土）小学生</p>
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
働く方の健康 ヨガ教室	<p>ケアプラザに馴染みが薄く、利用する機会が少ない世代の方へ周知と交流を含め単発として講座を開催。ヨガの体験</p>	<p>11月3日（土）</p>
事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉体験学習	<p>【対象者】 主に地元の中학생向け</p> <p>【目的】 公的施設の役割として、中學生にケアプラザでの業務内容・必要性を実際に見て、学んでもらい、社会人として自立する将来に向け、職業選択の一助としてもらう。（2年生）</p> <p>【実施内容等】 デイサービスにて、利用者の傾聴や作業等に参加。</p>	<p>日吉台中学校 7月4・5日 日吉台西中学校 9月27・28日 高田中学校 1月9・10日</p>

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
下田小学校5年生デイサービス交流会	<p>【対象者】 下田小学校5年生</p> <p>【目的】 様々な取り組みを通じて、世代間の交流を図り、地域ケアプラザの役割等の理解も深めてもらう。</p> <p>【実施内容等】 デイサービス利用者との交流を毎年実施。下田小学校5年生がクラスごとに参加し、合唱など様々な取り組みを利用者と一緒に行う。</p>	1月28・29・31日
事業名	目的・内容	実施時期・回数
広報紙「下田地域ケアプラザからのお知らせ」発行	<p>【対象者】 地域住民向け</p> <p>【目的】 各種事業の周知や情報伝達など</p> <p>【実施内容等】 下田地域ケアプラザ事業の周知や地域包括支援センターからの福祉制度に関するお知らせの掲載。各自治会町内会や関係機関などへ配布。(年間22,632部発行)</p>	毎月1回発行
事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域ケア会議(個別)	<p>【対象者】 地域住民と関係者</p> <p>【目的】 地域包括ケアシステム構築のため。</p> <p>【実施内容等】 個別事例が抱える問題点を検討し、地域でできる事はないか、同じような事例が生じた時にどのようにしていくか検討していく。</p>	10/29実施
事業名	目的・内容	実施時期・回数
包括レベル地域ケア会議 専門職と地域のネットワーク構成分科会	<p>【対象者】 地域住民代表と地域に関わる福祉保健関係者</p> <p>【目的】 地域包括ケアシステム構築のため</p> <p>【実施内容等】 日吉本町地域ケアプラザと共催で、日吉地区を5地区にわけ、地域住民と専門職との顔合わせから今後ネットワーク構築のために現状の問題点等を検討する機会とするため、昨年からの継続で2地区をおこなった。</p>	7/13 日吉宮前地区 12/13 日吉地区